

2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年11月9日
上場取引所 東

上場会社名 コムシスホールディングス株式会社
 コード番号 1721 URL <https://www.comsys-hd.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 加賀谷 卓
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務部長 (氏名) 真下 徹 TEL 03-3448-7000
 四半期報告書提出予定日 2023年11月10日 配当支払開始予定日 2023年12月5日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	244,889	6.1	14,167	49.5	14,883	45.8	9,536	45.9
2023年3月期第2四半期	230,867	△9.0	9,474	△47.6	10,209	△45.4	6,537	△47.2

（注）包括利益 2024年3月期第2四半期 12,027百万円（88.0％） 2023年3月期第2四半期 6,397百万円（△49.8％）

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	79.14	79.07
2023年3月期第2四半期	53.45	53.41

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	474,014	351,219	72.9
2023年3月期	502,133	346,725	67.9

（参考）自己資本 2024年3月期第2四半期 345,447百万円 2023年3月期 341,093百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	50.00	—	50.00	100.00
2024年3月期	—	50.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	55.00	105.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	570,000	1.2	34,000	5.9	34,500	11.5	23,000	18.9	190.43

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期2Q	133,000,000株	2023年3月期	141,000,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	12,805,462株	2023年3月期	20,221,171株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期2Q	120,509,569株	2023年3月期2Q	122,305,469株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
2. 当社は、2023年11月16日(木)に機関投資家・アナリスト向けの決算説明会をライブ配信にて開催する予定です。決算説明会資料および説明会動画につきましては、当社ウェブサイトにて掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行に伴い、社会経済活動の正常化が進む中、景気の緩やかな回復が続くことが期待されておりますが、エネルギー価格及び原材料価格の高騰、また、金融資本市場の変動等引き続き注視する必要があります。

コムシスグループを取り巻く事業環境につきましては、通信インフラ分野においては、デジタル田園都市国家構想の推進において、地域のデジタル化を加速させるため、光ファイバ及び5Gの整備による固定ブロードバンド未整備地域の解消、データセンターの分散立地などのデジタルインフラ整備の取り組みが強力に進められております。社会インフラ分野においては、激甚化・頻発化する自然災害、インフラ老朽化に対応した防災・減災、国土強靱化施策の推進、2050年カーボンニュートラルの実現に向けた再生可能エネルギー分野へのGX成長投資が期待されており、近年、広域的・戦略的なマネジメントにより、複合化・多機能化・効果最大化をはじめとする国土基盤の高質化を図ることが求められております。ITソリューション分野においては、デジタル技術による地方の課題解決に向けて、行政・公共・医療・介護等複数の分野においてデータを共有及び活用できるデータ連携基盤の整備などDX化が進められております。

コムシスグループといたしましては、通信インフラ分野においては、モバイル関連工事が減少するなど厳しい事業環境の中、コムシスグループ全体最適化を目指したエリアマネジメント体制の強化、アクセス・モバイル事業一体運営に向けた複合技術者育成など事業基盤強化に取り組んでまいりました。ITソリューション・社会システムの成長分野においては、バーチャルカンパニーを活用した営業強化及びアライアンスパートナー連携による受注拡大、事業拡大に向けた技術者育成、大型プロジェクトを中心にリスク管理を含めたプロジェクトマネジメント強化に取り組んでまいりました。今後とも、DXを活用した生産性向上、多様で柔軟な働き方改革の深化、新たな事業環境に対応した人材育成など、引き続きコムシスグループの経営基盤強化を図ってまいります。また、サステナビリティの取り組みとして、SBT認定を取得（2023年10月）いたしました。引き続き温室効果ガス排出削減に向けて積極的に取り組み、SDGsの目指す社会の実現に貢献するとともに、コムシスグループの持続的成長を図ってまいります。

このような状況のもと、当第2四半期連結累計期間につきましては、受注高301,518百万円（前年同期比12.6%増）、売上高244,889百万円（前年同期比6.1%増）となりました。また、損益につきましては、営業利益14,167百万円（前年同期比49.5%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益9,536百万円（前年同期比45.9%増）となりました。

【グループ別の受注高・売上高・セグメント利益 [営業利益]】

(単位：百万円)

報告セグメント	受注高		売上高		セグメント利益 [営業利益]	
	金額	増減率	金額	増減率	金額	増減率
日本コムシスグループ	143,801	22.3%	110,049	8.6%	6,045	247.8%
サンワコムシス エンジニアリンググループ	29,906	△2.8%	26,941	△6.3%	1,606	△37.9%
TOSYSグループ	17,190	△0.4%	15,048	8.9%	621	38.5%
つうけんグループ	33,722	9.8%	28,324	13.2%	2,403	30.0%
NDSグループ	43,610	8.8%	36,971	2.3%	2,104	51.1%
SYSKENグループ	16,253	1.1%	13,787	15.2%	303	△2.7%
北陸電話工事グループ	9,200	10.6%	6,689	△7.9%	127	△33.4%
コムシス情報システムグループ	6,868	14.2%	6,112	8.6%	692	15.5%

(注) 「受注高」及び「売上高」は外部顧客への取引高を記載しております。なお、「セグメント利益」は当社及びセグメント間取引により生じた利益を含んでおります。

（2）財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、受取手形・完成工事未収入金等が減少したことなどにより前連結会計年度末に比べ28,118百万円減少し474,014百万円、負債は、支払手形・工事未払金等が減少したことなどにより前連結会計年度末に比べ32,612百万円減少し122,795百万円となっております。

また、純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益による利益剰余金の増加などにより前連結会計年度末に比べ4,493百万円増加し、351,219百万円となりました。

この結果、自己資本比率は72.9%（前連結会計年度末は67.9%）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の通期連結業績予想につきましては、2023年5月11日に発表いたしました業績予想から変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	41,367	56,618
受取手形・完成工事未収入金等	187,954	124,175
未成工事支出金等	51,992	68,547
その他の棚卸資産	5,598	6,373
その他	18,362	20,628
貸倒引当金	△1,291	△105
流動資産合計	303,983	276,238
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物（純額）	44,498	45,743
土地	70,084	69,926
その他（純額）	28,654	26,970
有形固定資産合計	143,236	142,641
無形固定資産		
のれん	1,648	1,101
その他	5,089	4,846
無形固定資産合計	6,737	5,947
投資その他の資産		
投資有価証券	25,454	28,728
その他	25,530	23,277
貸倒引当金	△2,809	△2,819
投資その他の資産合計	48,175	49,186
固定資産合計	198,149	197,775
資産合計	502,133	474,014

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	82,842	61,359
短期借入金	3,950	3,693
未払法人税等	5,075	3,392
未成工事受入金	7,771	12,114
引当金	6,061	276
その他	28,745	20,097
流動負債合計	134,446	100,933
固定負債		
長期借入金	179	119
再評価に係る繰延税金負債	1,213	1,213
退職給付に係る負債	14,151	14,259
役員退職慰労引当金	616	547
環境対策引当金	400	400
その他	4,399	5,321
固定負債合計	20,961	21,861
負債合計	155,407	122,795
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,000	10,000
資本剰余金	93,113	75,213
利益剰余金	286,284	289,726
自己株式	△45,318	△29,121
株主資本合計	344,079	345,819
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,722	5,995
繰延ヘッジ損益	△78	△0
土地再評価差額金	△8,250	△8,019
退職給付に係る調整累計額	1,620	1,651
その他の包括利益累計額合計	△2,985	△372
新株予約権	939	992
非支配株主持分	4,692	4,779
純資産合計	346,725	351,219
負債純資産合計	502,133	474,014

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第2四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2023年4月1日 至 2023年9月30日）
売上高	230,867	244,889
売上原価	203,497	213,798
売上総利益	27,369	31,091
販売費及び一般管理費	17,895	16,924
営業利益	9,474	14,167
営業外収益		
受取利息	11	11
受取配当金	555	471
固定資産賃貸料	142	141
その他	259	234
営業外収益合計	969	858
営業外費用		
支払利息	15	9
賃貸費用	56	44
遊休資産費用	34	38
その他	127	48
営業外費用合計	234	141
経常利益	10,209	14,883
特別利益		
固定資産売却益	14	30
投資有価証券売却益	18	22
保険戻戻金	0	135
受取損害賠償金	3	74
関係会社株式売却益	218	—
その他	37	57
特別利益合計	294	320
特別損失		
固定資産除却損	81	50
特別退職金	70	109
減損損失	—	87
事業構造改革費用	67	59
その他	48	40
特別損失合計	267	346
税金等調整前四半期純利益	10,236	14,858
法人税等	3,772	5,233
四半期純利益	6,464	9,624
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失（△）	△72	88
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,537	9,536

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	6,464	9,624
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△144	2,292
繰延ヘッジ損益	25	78
退職給付に係る調整額	52	31
その他の包括利益合計	△67	2,402
四半期包括利益	6,397	12,027
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,472	11,919
非支配株主に係る四半期包括利益	△75	107

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結会計期間末における資本剰余金の残高は、前連結会計年度末より17,900百万円減少し、75,213百万円となっております。また、自己株式の残高は、前連結会計年度末より16,197百万円減少し、29,121百万円となっております。これらの主な要因は、以下のとおりであります。

① 自己株式の取得

当社は2023年5月11日開催の取締役会の決議に基づき、2023年5月12日から2023年9月30日までの期間に自己株式691千株を取得しております。この結果、当第2四半期連結累計期間において自己株式が1,999百万円増加しております。

② 自己株式の消却

当社は2023年5月11日開催の取締役会の決議に基づき、2023年5月31日付で自己株式8,000千株を消却しております。この結果、当第2四半期連結累計期間において資本剰余金及び自己株式がそれぞれ17,956百万円減少しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて算定しております。

(重要な後発事象)

(自己株式の取得枠拡大)

当社は、2023年5月11日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式取得に係る事項について決議いたしました。2023年11月9日の取締役会において、自己株式の取得枠拡大を決議いたしました。

(1) 変更理由

株主への一層の利益還元と企業環境の変化に対応した機動的な資本政策の遂行を可能とするため、取得し得る株式の総数および株式の取得価額の総額を拡大するものであります。

(2) 取得の内容

変更箇所は下線で示しております。

	変更前 (2023年5月11日開催取締役会決議)	変更後 (2023年11月9日開催取締役会決議)
①取得対象株式の種類	当社普通株式	当社普通株式
②取得し得る株式の総数 (自己株式を除く発行済株式 総数に対する割合)	<u>200万株</u> (上限) (1.65%)	<u>250万株</u> (上限) (2.07%)
③取得価額の総額	<u>40億円</u> (上限)	<u>50億円</u> (上限)
④取得期間	2023年5月12日～2024年3月31日	2023年5月12日～2024年3月31日
⑤取得の方法	東京証券取引所における市場買付	東京証券取引所における市場買付

(ご参考) 2023年9月30日時点の自己株式の保有

発行済株式総数 (自己株式を除く) 120,194,538株
自己株式数 12,805,462株